

子どもたちを放射能汚染から守り、自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ

「女性ネットみやぎ」ニュース No.33 2014.3.24

ブログ : joseinet-miyagi メール : housyanoujoseinet@hotmail.co.jp Tel /fax 022-215-3120

「原発はもうたくさんだ」鎌仲ひとみさん講演会に133名 3月22日【土】 13時半～フォレスト仙台2F 会議室

「女性ネットみやぎ」二周年のつどい

守ろう！子どもたちのいのち・未来



共同代表小澤さんが開会あいさつ



鎌仲さんのはっきりとした話しぶりに引き込まれ、「もっとも話を聞かせてほしい！」と…。著書も完売しました。



「守ろう！子どもたちのいのち・未来」をテーマに、女性ネットみやぎ二周年のつどい 鎌仲ひとみさん講演会「原発はもうたくさんだ！」には、会場あふれんばかりの133名の参加（会場狭すぎでしたね）がありました。

鎌仲さんは、チェルノブイリや福島の実例を調査した内容をわかりやすく画像で示しながら、歯切れ良く元気に話しを進め、私たちの疑問や不安を解きほぐしながら、これからの運動の方向性を示してくれました。

事故後の公的対応についても、日本政府が「大丈夫論」を振りまきスピーディなどによる実情を隠して事態を悪化させたことは対照的に、チェルノブイリ近辺ではどこに行っても公的機関に汚染地図が貼っており、住民が確認しながら暮らしていると話し、いつでもすぐに確認できる汚染実態を示す地図を作成すべき、と話しました。また、長期の低線量被曝や内部被ばく問題はこれからが重要で、子どもたちの健診を毎年続ける重要性和その継続的記録の管理が必要、と話しました。

福島原発による被曝放射線量よりずっと低いチェルノブイリで、毎年4500人の子どもたちが国による長期滞在型の保養所を利用し、汚染地域から解放されリフレッシュしており、元気になった子どもたちの画像も示しました。安倍政権の原発政策に対するには、身近な市や町や村を変えていくことが重要。そのために、地元の意識を変える地道な草の根の運動が大切。みんなで頑張っていきましょう、と呼びかけました。

女性ネットみやぎの3月・4月の街頭宣伝署名行動は、

3月26日(水)12時～13時 一番町フォーラス前で

4月21日(木)12時～13時 一番町フォーラス前で

お誘い合わせて、ご参加ください。

「女性ネットみやぎ 呼びかけ人会議」を開催



3月22日、「二周年のつどい」のあと、引き続き第4回呼びかけ人会議を開催しました。新たに加わった呼びかけ人と事務局の30人でしたが、途中からはつどい会場で著書にサインされていた鎌仲さんも参加され、楽しい話し合いとなりました。

これまでの活動を報告し会計報告をして、これからの女性ネットみやぎの活動について、意見交換しました。

「つどいの講演のときに話に出ていた子どもの内部被ばく調査の甲状腺検査について、宮城ではどんな状況かを調べて知らせること、検査しやすい環境を保険医協会や民医連と相談して継続的に進めていこう」「自然エネルギーによる発電設備は一般の活用が広がっており、蓄電池も改良され利用しやすくなっている」「みやぎ生協では再生可能エネルギー・自然エネルギー活用のとりくみを具体的に進めている、宮城県が決めた目標値が他県の設定よりはるかに低いこと、県の実施計画

を聞く会などの学習会開催はどうか」「電磁波障害が広がっており、その対策を知らせるべき。ヨーロッパ並みの規制を決めてほしい。アンケート調査をしているが、その結果を次の運動に生かしていきたい」「女性ネットみやぎの本田事務局長に、2014みやぎアクションのメーリンググループに入ってもらったので、女川原発再稼働ストップの活動をともに進めやすくなったので、お互いの活動を広く知らせあって運動をより大きくしていきましょう」など、積極的な意見がだされました。これからの女性ネットのとりくみにさっそく組み入れていきたい内容です。

鎌仲さんご自身に対してもいろいろな攻撃がつづくなかで、元気に頑張っている様子を話され、「宮城でこんなにしっかりとした組織をつくって運動しているなんてすごい。こうした活動をさらに大きくして、む〇〇知事を変えていきましょう」と明るく話し、みんなを見て「みなさん、若いですね」と、やさしく励ましてくれました。

最後に、残っていた方で鎌仲さんといっしょに写真を撮りました。

原発・放射能・子ども関連の行事など、各地・各団体のとりくみ

- ◆脱原発みやぎ金曜デモ 3月28日(金)第80回：勾当台公園野外音楽堂 18時集合 18時半デモ出発
4月4日(金) 18時勾当台公園野外音楽堂、18時30分デモ出発
4月11日(金) 18時勾当台公園野外音楽堂、18時30分デモ出発
4月18日(金) 18時勾当台公園野外音楽堂、18時30分デモ出発
- ◆金ばつデモ(塩釜地域) 毎週金曜 17時半集合 下馬駅裏宮城民医連事業協、17時45分デモ出発
- ◆大崎でも金曜デモ(旧古川地域) 毎週金曜 ◆脱原発長町アクション：仙台太白区長町地域で：第3水曜日
- ◆3月31日締め切り／生活環境要因と健康に関する調査票(環境過敏症関連アンケート) 協力お願い
早稲田大学応用脳科学研究所・生活環境と健康研究会(代表：北條祥子、責任者：辻内琢也)
22日のつどいでも調査票が配布されています。ご協力ください。
- ◆4月13日11時～、14時～亀井文夫映画2本立て2回上映：荒町養賢堂で参加費1,000円
「生きてよかった(52分)」「鳩ははばたく(40分)」主催：右岸の羊座
- ◆4月19日(土)7:30～18:00 3・11を忘れない「福島原発 現地視察バスツアー」フォレスト仙台の前に集合
50名定員：2000円いわき・楡葉・富岡方面、現地の方が案内します。一般参加OK 主催：宮教組中央支部
- ◆6月14日(土)ドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」上映会：15時半～、18時～せんだいメディアテーク7F
前売り1000円当日1200円 主催「疎開した40万冊の図書」上映実行委員会(連絡先022-221-4667川端方)
- ◆6月29日(日)9時半～「宮城県母親大会 in 若林」仙台市六郷小学校で午前は分科会、午後全体会
第12分科会「放射能汚染からいのち・暮らしを守るために」など22の分科会、全体会記念講演：浜矩子氏